

みどりの食料システム戦略推進交付金のうち バイオマス地産地消対策

【令和4年度予算概算決定額 837（－）百万円の内数】
（令和3年度補正予算額 2,518百万円の内数）

＜対策のポイント＞

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、地域のバイオマスを活用したエネルギー地産地消の実現に向けた調査・施設整備を支援するとともに、バイオ液肥の地域内利用を進めるため、液肥散布車の導入やバイオ液肥の散布実証のための取組を支援する。

＜事業の内容＞

1. 地産地消型バイオマスプラントの導入（施設整備）

家畜排せつ物、食品廃棄物、農作物残渣等の地域資源を活用し、売電に留まることなく、熱利用、地域レジリエンス強化を含めた、エネルギー地産地消の実現に向けて、

- ① 事業化の推進（事業性の評価、調査、設計）
- ② バイオマス活用施設整備
- ③ 効果促進対策を支援する。

2. バイオ液肥散布車の導入（機械導入）

メタン発酵後の副産物（バイオ液肥）の肥料利用を促進するため、バイオ液肥散布車の導入を支援する。

3. バイオ液肥の利用促進

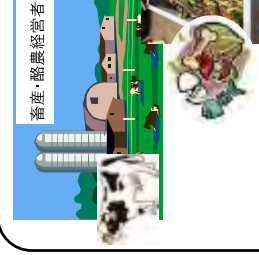
- ① 散布機材や実証ほ場を用意し、メタン発酵バイオ液肥を実際にほ場に散布する（散布実証）。
- ② 散布実証の結果に加え、バイオ液肥の成分や農作物の生育状況を調査・分析し、バイオ液肥を肥料として利用した際の効果を検証する（肥効分析）。
- ③ 検証の結果を整理し、普及啓発資料や研修会などを用いて、地域農業者等にバイオ液肥の利用を促すことで、利用範囲を拡大する（普及啓発）。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

事業化の推進（調査・設計）（交付率1/2以内）



地産地消型バイオマスプラント、液肥散布車
(交付率 1/2以内)

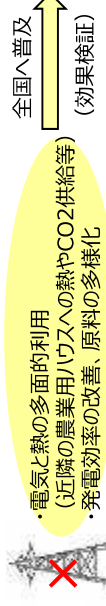


複合利用が可能！
(肥料・エネルギー)



地域資源循環
・有機質肥料の利用
・肥料コストの低減

効果促進対策（交付率定額）



モデルを全国各地へ波及
バイオマス利用量の増加
農家の所得向上、農村の振興

バイオ液肥の利用促進（交付率定額）

- ① バイオ液肥を実際にほ場に散布
- ② バイオ液肥の肥効分析等
- ③ 検証結果を整理し、地域農業者に普及

